

## 有田恵子の市政報告

旭市民の皆様へ

旭市にはドンがいます。東京都と同じです。市議会で最大派閥を主宰するドンは子分を市長に擁立しました。市長は傀儡でドンの言いなりです。市長が行うべき重要な公共工事の企画立案、市の幹部職員の人事も全てドンの指示の下に行われております。ドンは市執行部の主要ポストを腹心の子分で固めました。ドンは議会、市長、市の幹部職員を子分で固め、旭市における独裁体制を確立したのです。市の幹部職員はドンが命令したドンのための疑惑案件を通すため、虚偽のシナリオを描き、子分市議員はこれを無批判に承認するのです。旭市議会は本来の機能である行政に対するチェック機能を完全に喪失しているのです。

私が応募し、落選した市営の国民宿舎飯岡荘の貸付先公募も同じでした。ドンの命令で解体することは議会で既に承認済みで、解体費用1億円も予算計上済みだったのです。それなのになぜ貸付先公募をしたのでしょうか。考えられることはただ一つ、いきなり解体すると市民の皆様の反対が予想されるため、形式的に貸付先公募を行い、「適当な貸付先がなかった、従ってやむなく解体する」と皆様を騙して納得させるため、ドンの子分である商工観光課長が虚偽のシナリオを描いたものと思われる。

私の落選理由は「経営や雇用について期待していたものと異なるから」というものでした。これに対し私は、「募集要項に経営や雇用について何も条件が付けられていない、しかも建物を貸し付けるのにこれは理由にならないだろう、少なくとも経営や雇用について何を期待し、どこが異なっているのか教えて欲しい」と、貸付先選定委員長の副市長に3回、副委員長に1回、商工観光課長に3回、計7回質問状を提出しましたが、ナシの礫でした。おそらく私を納得させる正当な理由を思いつけなかったものと思われる。しかし、ドンが命令した議案を履行するためにはどんな屁理屈を付けてでも落選させなければならなかったのです。

ドンは「議案は何でも通る」と何時も豪語しておりますが、事実その通り、ドンが命じた疑惑案件は全て圧倒的多数で承認されるのです。そのためでしょうか、市の担当幹部職員も、私の質問に対し「議案は何でも通るから」とついドンの口癖をマネしておりました。インターネットで「有田恵子のホームページ、市議会報告」を検索すれば分かる通り、私は定例会市議会で再三再四疑惑を追求しておりますが、多勢に無勢全く無視され、犬の遠吠えに終わっております。旭市議会では多数決の横暴がまかり通っているのです。

以下、これまで私が追求し、無視されてきたとんでもない疑惑議案について新しいものから順にご報告致します。

### 1、 新庁舎建設用地について

昨年12月19日の定例会市議会で新庁舎建設用地を文化の杜公園にする議案が承認されました。確かに、同公園は市の中心部にあり、また道路も整備されており、環境もよく、場所としては最適地かもしれません。しかし、同公園は防災拠点として17億円もかけて整備され、2012年4月ようやく完成したばかりです。新庁舎建設用地には国の補助金1億1800万円を含め2億5770万円の巨費が投入されております。どうしてこれを破壊して新庁舎を建設するのか全く理解困難です。しかも、破壊した防災設備の代替施設として現庁舎跡地に自費で防災公園の整備が要求されているのです。代替防災公園整備に少なくとも1億円はかかるでしょう。市は合わせて約3億5千万円もの巨費をどぶに捨てようとしているのです。こんなとんでもない税金の無駄遣い、議案として出てくること自体あり得ないことですが、これが16対6の圧倒的多数で承認されたのです。

新庁舎建設は合併時からの懸案事項でした。新庁舎を建設するのであれば、文化の杜公園の新庁舎建設予定地に防災公園を建設すべきではなかったのです。そして、防災公園を建設した以上は、新庁舎は当然別の場所に建設すべきなのです。これは当たり前のことでしょう。私は、現庁舎の場所で建て替えればよいと思っております。現庁舎のネックは駐車場が足りないことだけですが、高層化することで駐車場スペースは拡大します。また、近くの農地を2000万円もかけずに購入し、駐車場にすることもできるのです。

旭市庁舎建設検討委員会における検討会では、文化の杜公園に新庁舎を建設することは都市計画の変更を要し時間がかかること、補助金返還を求められる懸念があること、代替設備の建設を求められる懸念があること、文化の杜公園は合併後に整備されたものであり、これを破壊することは市の姿勢が問われる、等の疑問が提示されておりました。の補助金返還はの代替設備を現庁舎跡地に建設することを条件に免除されてはおりますが、他の問題は残っております。このような問題点があるため、市長は現庁舎を建て替えると明言しておりました。それなのに、急遽文化の杜公園に決定したのは何故でしょう。市長が受けた近くで造園業を営む合併前の旧旭市議の要望を、ドンが支持し命令したものとされておりまして。

なお、防災公園用地を提供した地主は、「市から防災公園をつくるから協力してほしいと言われて売却したのであり、新庁舎を建設するのであれば売却しなかった。何の説明も断りもなく、防災設備を破壊して新庁舎を建設するのは怪しからん」と憤慨されております。

## 2、 飯岡中学外構工事の増額申請について

同工事を受注したE建設からの要請として、平成27年度第16号議案「想定外の湧水があり、このままでは工事ができないので4097万円予算の増額を認めて欲しい」が提出されました。調べてみると、この増額申請4097万円の内訳の大部分2703万円はウエルポイント工事（水抜き工事）でした。

このウエルポイント工事について調べてみると、E建設はこの工事をV社に702万円で丸投げし、自社では電気代172万円しか払っておりません。それなのに自社でウエルポイントをリースし、自ら水抜き工事した場合の仮定の見積もり(2703万円)をH建設設計事務所に作成させ、この虚偽の見積書を添付して請求しておりました。しかし、実際にはウエルポイント工事は外構工事の実施に先立って実施済みで、増額申請はウエルポイント工事が完了して、原価874万円が確定して7か月もたってからの請求だったのです。あたかも想定外の湧水事故が突発し、工事が中断しているかの様な議案の提出理由は、全くの嘘であることが判明しました。

この詐欺罪ともいえる過大請求議案、本来通るはずのない議案が圧倒的多数で承認されたのです。これは復興資金に余裕金があることを知っていたドンの命令で、E建設に儲けさせるため、最低価格で外構工事を受注させて増額申請で儲けさせる。そのために担当の教育委員会庶務課長が虚偽のシナリオ(突発事故発生)を描いたもの、と推定しております。

## 3、 三川蛇園連絡道建設

信じられないとんでもない税金の無駄遣い、疑惑の典型がこの道路の建設でしょう。この道路は国道126号線飯岡バイパスの江畑病院入り口にある造園業宮内グリーンから海上の料亭なみ川の近くの交差点に至る2キロ余りのバイパスです。たった2キロ余りの曲がりくねった道路建設に市は24億円もの巨費を投じつつあるので

す。投資額がとんでもない巨額になる理由は、JRの土手盛りした線路下に新たにトンネルを設ける必要があるため、そのトンネル工事に14億円もかかるためです。この道路建設は税金の無駄遣いの典型例、悪政の見本として永く後世に残ることでしょう。

市はこの道路建設の必要性について、千葉県に出した申請書に、飯岡バイパスの混雑緩和、通学路の確保、を掲げております。これが大嘘であることは市民の皆様なら誰にでも分かることです。私は飯岡バイパスが混雑し渋滞しているのを見たことがありません。またこの地域は過疎化が進んでおり、廃校寸前の小学校があるだけで学童どころか通行人さえ殆ど見かけたことはありません。道路が完成すれば、人気の全くない田んぼや畑の真ん中に忽然として現れるこの歩道付きの広大な道路は、テレビ朝日の「ナニコレ珍百景」に登録されるかもしれません。

なお、市長はこの道路は合併時の重要な懸案事項であった、と議会で答弁しておりますが、それは全くの大嘘です。そのような記録や証拠はどこにもありません。当時あった別の道路計画とすり替えているのです。しかし、一体誰がすり替えたのかそれは全く分かりません。東京都の豊洲市場の土盛り中止を誰が決めたか分からないのと同じ状況にあるのです。

この道路建設はドンが自宅からこのバイパスを経由して広域農道に至るマイロード建設を夢見たものと推定しております。また、飯岡バイパスからの入り口にあった子分市議の遊休地を市に買い取らせる一石二鳥を狙ったのかも知れません。

#### 4、津波避難塔の建設

市は津波避難塔を海岸沿いに4基も作りました。内訳は塔の高さ8メートル分が3014万円、9メートル分が3990万円、10メートル分が3318万円と4927万円です。合計1億4927万円がまるまる復興資金から出されたのです。私の知り合いの建設会社に避難塔1基作るのにどれ位かかるか聞いたところ1000万円くらいで出来るとのことでした。

津波は高台に逃げるのが一番です。旭市は近くに高台があります。民家が密集しているわけでもないのに道路が混雑することは全くありません。車で10分もあれば容易に高台に避難できるのです。事実、東日本大地震で誘発された大津波でも海岸沿いの住民は刑部岬に余裕を持って避難しております。遭難者が出ておりますが、これは津波が引いたので後片付けに戻ってきて第二波で被災したのです。海岸近くに建てられた、この高さ僅か10メートル以下の鍵のかかった避難塔に避難する人は未来永劫皆無でしょう。この使われない避難塔には1基毎年60万円も保守費用が掛かるのです。

市は何故このような無意味なとんでもない税金の無駄遣いをしたのでしょう。私はドンが系列の建設会社に儲けさせるため、市に命じたものと推定しております。この津波避難塔も税金無駄遣い、悪政の典型例として永く後世に残ることでしょう。

#### 5、袋公園駐車場用地購入

これはドンが地権者の息子を騙し、地権者に説明した購入金額を上回る約1000万円を二人で山分けしたものと推測しております。具体的には、

- ・住宅ローン返済遅延や税金滞納で差し押さえを受けていた地権者の所有する土地を、市に購入させることを約束して、ドンがこの土地に自分の会社名義の「仮登記」を付けました。
- ・地権者に無断でドンが地権者の息子と同道して、息子に売却代金振り込み用の通帳を新たにT信用金庫で作らせた。
- ・「仮登記」の解除を条件に、その新規通帳に旭市から売買代金2023万円を振り込ませ、地権者の口座に振り込んだ残額約1000万円を二人で山分けを企てました。

市は地権者に対し差し押さえを行っており、当然旧通帳の存在を知っていたはずですが、それを知りながら、新規通帳への振り込み実行は市の協力なしには出来ません。これは明らかに横領事件であるだけでなく、市の組織ぐるみの共犯が疑われます。しかし、この責任追及も時効が成立していることもあり、全く不問に付されてしまいました。

市役所は、本来、文字通り「市民の役に立つ所」でなければなりません。しかし、旭市役所は、上記の通り、ドンのための疑惑議案を遂行する所、即ちドンの役に立つ所、「ドン役所」に成り下がっております。旭市役所は真っ黒け、疑惑の殿堂、伏魔殿です。市政刷新が緊急の課題です。そのためにはドンの独裁体制を解体しなければなりません。まず、ドンの子分を市長に選ばないことです。ドンが支援する市長候補者に投票しないことです。選べばドンの独裁体制がこのまま続くのです。

また、本来、市会議員の務めは行政に対するチェック機能の筈です。しかし、ドンの子分市議でこのチェック機能を自覚している人は皆無です。ドンの命じたたドンのための私利私欲議案を通すために、市長を含め、ドンの子分市議は無批判に全面協力しているのです。それなのに市長は1200万円、非常勤の市議は568万円もの高額の間報酬を市民の税金から貰っております。これは許されないことではないでしょうか。